

活動報告

<午前の活動>

- プログラム名： シイタケの駒打ち作業
- 日 時： 2月16日（日）9：30～12：00
- 活動場所： もりのいま横ピロティ
- 参加者： 16名（内体験者4名）
- 活動概要： シイタケの駒打ち（楢木約50本）
- 活動内容：

前日から天候に関して心配していましたが、徐々に暖かい日差しに恵まれ午後は少し暑いくらいでした。4名の体験者をお迎えし賑やかな一日になりました。

今回の活動は、楢木にシイタケ菌の駒打ちを行いました。

この楢木は、昨年11月にカブトムシの森で伐採したクヌギを活用しています。伐採したクヌギは楢木にするため葉枯らしを行い乾燥させます。その後1月に1mの長さに玉切りし楢木を作りました。

はじめに自然観察センター前にて、本日の作業内容の説明とシイタケの栽培法の説明、安全注意点の指導、道具の準備を行いピロティへ移動しました。

まずは駒打ちの作業を行うためコンクリート床の上にブルーシートで床養生を行い、楢木の穴あけとコマ打ちに分け、電動ドリルの安全動作や不安全動作の実演を行い作業開始。

概ね①直径15cm前後のもの約7本+②直径4cm～10cm前後×43本前後の計50本程度のコマ打ちを行うことができました。打ち込んだコマ数は概ね1000個～1100個と思われ昨年以上にコマ打ちを行いました。



【作業場の様子】



【シイタケ菌の駒打ち】



【ドリルで穴あけ】



【午前 集合写真】

<午後の活動>

■プログラム名：アカマツ林整備作業

■活動日時： 2025年2月16日（日）12：40～15：40

■目的：アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成

■活動場所：アカマツ林 「キキョウの丘（A地区）、ソヨゴ谷（C地区）、タムシバ谷（D地区）
エゴノキ谷（E地区）、コシアブラの尾根（F地区）」

■参加者：16名（内体験者4名）

■活動概要：萌芽枝、草刈り及びアカマツ幼木の間伐

■活動内容

久しぶりに天気恵まれ貴重なアカマツ林作業となりました。

午前中の椎茸駒打ち用から手早く道具を入れ替え、全員で作業内容と安全事項を確認し準備運動を済ませて作業を開始、3班に分かれおおよそ1時間半汗を流しました。

・Ⅰ班（5名）はソヨゴ谷（C地区）の萌芽枝、草刈りを行いました。傾斜地でしかも昨夜の雨で地面が湿っていたので、足元に気を付けながらのきつい作業でした。またシダが密生した区域は刈払い機を使用して効率よく刈り取りました。

・Ⅱ班（4名）はタムシバ谷（D地区）の萌芽枝、草刈りとエゴノキ谷（E地区）のアカマツ幼木の間伐を行いました。こちらも傾斜地で急斜面もある為、安全には特に気を付けながらの作業でした。幼木間伐は一番下の力枝が重ならない間隔で行いました。

・Ⅲ班（6名）は体験参加者へ活動の説明をしながら、遊歩道沿いをキキョウの丘（A地区）からコシアブラの尾根（F地区）まで草刈りを行いました。アカマツ林を訪れた人がより気持ちよく散策が出来るようになったと思います。

懸案にしていた落葉期の萌芽枝刈りを行う事が出来ました。シダの草丈が低く抑えられていることも継続的な刈取り作業の成果と思います。目指す森づくりは地道な作業あるのみですが、アカマツ幼木が間伐を必要とする程に生育してきたことが大きな励みになっています。

体験参加の方々にもアカマツ林の整備活動に理解と関心をもって頂けたことは嬉しいことです。



【斜面を草刈り】



【刈払い機で作業】

